

住み慣れた
地域で

誰でもいつかは人生の最期を迎えます。

いっしょに
考えましょう

最期まで自分らしく生きるために

～看取りを考える～

第1部 講演会



講師

清水メディカルクリニック
副院長 在宅医療部門

清水 政克 先生

2006年から在宅医療に従事し
2013年に自院を立ち上げ、
年間50名前後の方を在宅で看取っている。
病気になっても地域で暮らしたい方々を
支える医療を提供するために、
多職種連携や地域活動(保健室など)にも
取り組んでいる。



講師

医療法人社団 新国内科医院
看護部長 がん看護専門看護師

宇野 さつき さん

2006年から現職。
外来と訪問看護に携わると同時に、教育機関、
看護協会、学会等でも活動。
現場での実践の傍ら
2013年地域緩和ケアサポートをばを設立、
緩和ケアや看取りのケアへの教育・実践支援に
取り組んでいる。

第2部 意見交換会

自分のこと、大切な家族のこと、これからの時代を支える子ども達のためにも
一緒に考えてみませんか。

東住吉区では、住み慣れた地域で人生の最期まで安心して自分らしく過ごせるよう、
医師会を中心に歯科医師、薬剤師、看護師など医療関係者とケアマネジャー、
地域包括支援センターなど医療介護関係者が連携して取組んでいます。

今回は講演をお聞きいただいた区民の方々と区内の医療・介護関係者が在宅医療・
介護や看取りについて、一緒に考える意見交換をします。奮ってご参加ください。



と き 11月18日(土) 14:00~16:30 (開場13:30)

と ころ 東住吉区民ホール (区役所3階)
大阪市東住吉区東田辺1-13-4

主 催 東住吉区在宅医療連絡会
大阪市東住吉区医師会 東住吉区歯科医師会 東住吉区薬剤師会
東住吉区ケアマネ連絡会 東住吉区訪問看護連絡会
東住吉区内地域包括支援センター 東住吉森本病院 東住吉区役所

共 催 訪問看護ステーションたちばな (大阪府訪問看護教育ステーション事業)

協 力 東住吉区介護保険関係者連絡会

助 成 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

参加申込不要
定員400名
参加費 無料

